

2026年度 シラバス

(工業専門課程)

実の力を、学ぶ学校



学校法人
日翔学園

開成情報看護専門学校

1. 年間行事予定表

2026（令和8）年度 年間行事予定表(1/2)

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1水		1金		1月		1水		1土		1火	
2木		2土		2火		2木		2日	OC(午前)	2水	
3金		3日	憲法記念日	3水		3金		3月		3木	
4土		4月	みどりの日	4木		4土		4火		4金	スポーツ大会
5日		5火	こどもの日	5金		5日		5水		5土	
6月		6水	振替休日	6土		6月		6木		6日	OC(午前) サーティファイ2級1部(午後)
7火		7木		7日	OC(午前) サーティファイ2級1部(午後)	7火		7金		7月	
8水	入学式	8金		8月		8水		8土		8火	
9木		9土		9火		9木		9日		9水	
10金		10日		10水		10金		10月		10木	
11土		11月		11木		11土	OC(午後)	11火	山の日	11金	
12日		12火		12金		12日		12水		12土	
13月	新入生合宿	13水		13土		13月		13木		13日	
14火	新入生合宿	14木		14日		14火		14金		14月	
15水		15金	サーティファイOffice	15月		15水		15土		15火	
16木		16土	OC(午前)	16火		16木		16日		16水	
17金		17日		17水		17金	サーティファイOffice 確認試験 発表期間	17月		17木	
18土		18月		18木		18土		18火		18金	
19日		19火		19金		19日		19水		19土	
20月		20水		20土	OC(午後)	20月	海の日	20木		20日	
21火		21木		21日		21火		21金		21月	敬老の日
22水		22金		22月		22水		22土	OC(午後)	22火	
23木		23土		23火		23木		23日		23水	秋分の日
24金		24日		24水		24金		24月		24木	
25土		25月		25木		25土	サーティファイ修了(午前) OC(午後)	25火		25金	
26日	OC(午前)	26火		26金		26日		26水		26土	
27月		27水		27土		27月	定期確認試験(前期)	27木		27日	
28火		28木		28日		28火		28金		28月	
29水	昭和の日	29金		29月		29水		29土		29火	
30木		30土		30火		30木		30日		30水	
		31日				31金		31月			
				開成育英制度説明会						スポーツ大会	

2026（令和8）年度 年間行事予定表(2/2)											
10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1木		1日		1火		1金	元日	1月		1月	
2金		2月		2水		2土		2火		2火	
3土		3火	文化の日	3木		3日		3水		3水	
4日		4水		4金		4月		4木		4木	
5月		5木		5土	OC(午後)	5火		5金		5金	
6火		6金		6日		6水		6土		6土	
7水		7土	日翔祭	7月		7木		7日		7日	
8木		8日	日翔祭	8火		8金		8月		8月	
9金		9月		9水		9土		9火		9火	
10土		10火		10木		10日		10水		10水	
11日		11水		11金		11月		11木	建国記念の日	11木	
12月	スポーツの日	12木		12土		12火	成人の日	12金		12金	
13火		13金		13日		13水		13土		13金	
14水		14土		14月		14木		14日		14土	
15木		15日		15火		15金		15月		15日	
16金		16月		16水	(看護)ケースレポート発表会	16土		16火		16月	
17土	OC(午後)	17火		17木		17日		17水		17火	
18日		18水		18金		18月		18木		18水	
19月		19木		19土		19火		19金		19木	
20火		20金	サーティファイ Office	20日		20水		20土		20金	春分の日
21水		21土		21月		21木		21日		21土	
22木		22日		22火		22金	サーティファイ Office	22月		22日	
23金		23月	勤労感謝の日	23水		23土	OC(午後)	23火	天皇誕生日	23月	
24土		24火		24木		24日		24水		24火	
25日		25水		25金		25月		25木		25水	
26月		26木		26土		26火		26金		26木	
27火		27金		27日		27水		27土		27金	
28水		28土		28月		28木		28日		28土	
29木	ナーシングセレモニー	29日		29火		29金				29日	
30金		30月		30水		30土				30月	
31土				31木		31日				31火	

2. 2026年度 年間授業科目一覧表

システム開発科・高度システム開発科 1年

		科目	単位	時間
共通	通期	社会コミュニケーション論Ⅰ	4	120
		MS Office 実習Ⅰ	2	60
		就職研修Ⅰ	2	60
	後期	企画実践Ⅰ	1	30
専門	前期	コンピュータ概論Ⅰ	5	150
		Java 基礎	3	90
		データベース基礎	2	60
		修了試験対策	2	60
	後期	アルゴリズム	3	90
		情報処理研究Ⅰ	4	120
		P C 基礎知識	2	60
		プログラム基礎	4	120
		選択科目	4	120
合 計			38	1140

システム開発科・高度システム開発科 2年

		科目	単位	時間
共通	通期	社会コミュニケーション論Ⅱ	4	120
		MS Office 実習Ⅱ	2	60
		就職研修Ⅱ	2	60
	通期	企画実践Ⅱ	1	30
専門	前期	コンピュータ概論Ⅱ	5	150
		J a v a 応用	4	120
		H T M L 5	2	60
	後期	資格試験対策	3	90
		情報処理研究Ⅱ	4	120
		機械学習・A I	3	90
		プログラム実務	4	120
		選択科目	4	120
合 計			18	540

高度システム開発科 3・4年（2027年度）（予定）

		科目	単位	時間
共通	通期	社会コミュニケーション論Ⅲ・Ⅳ	4	120
		就職研修Ⅲ・Ⅳ	2	60
	後期	企画実践Ⅲ・Ⅳ	1	30
専門	通期	情報セキュリティ研究Ⅲ・Ⅳ	5	150
	前期	Windows Server	2	60
		システムDB	3	90
		開発環境構築	1	30
		設計・仕様書	2	60
		システム開発	4	120
	後期	システムテスト	1	30
		保守・運用	1	30
		ルータ演習Ⅲ・Ⅳ	1	30
		ネットワーク研究Ⅲ・Ⅳ	1	30
		Web 英語講読	1	30
		Linux OS 概論	1	30
		脆弱性体験	4	120
		脆弱性対策実習Ⅲ・Ⅳ	4	120
合 計		38	1140	

高度システム開発科 3・4年（2026年度）

		科目	単位	時間
共通	通期	社会コミュニケーション論Ⅲ・Ⅳ	4	120
		就職研修Ⅲ・Ⅳ	2	60
	後期	企画実践Ⅲ・Ⅳ	1	30
専門	通期	情報セキュリティ研究Ⅲ・Ⅳ	5	150
	前期	仮想化技術	2	60
		Android DB	3	90
		Android 開発環境構築	1	60
		Android 開発	5	150
	後期	Web システム開発	1	30
		Web テスト	2	60
		ルータ演習Ⅲ・Ⅳ	1	30
		ネットワーク研究Ⅲ・Ⅳ	1	30
		Web 英語読解	1	30
		Windows OS 概論	1	30
		Android 脆弱性体験	4	120
		脆弱性対策実習Ⅲ・Ⅳ	4	120
合 計			15	450

※選択科目については、改めて追加のシラバスを配布する。

3. 共通科目 シラバス

科目名	社会コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱ		学年	全学科1年、高度2年	授業方法	講義・演習
開講期間	通期（4単位 60コマ）		担当	全教員	実務経験のある教員	○
目標とする資格	ビジネス能力検定ジョブパス 3級					
目標とする技術	企業が求める社会力やコミュニケーション力を高めるために、本校独自の手法で様々な社会実例や演習を重ねながら、自分に自信を持って就活やその先の人生を過ごせるようになるための力を身に付ける。					
授業内容	前期（30コマ）		後期（30コマ）			
	①【2コマ】 社会常識とは ②【3コマ】 対話力の重要性 ③【4コマ】 学生便覧（VI. 就職について） 自己分析・企業研究の進め方 応募書類の書き方 採用試験とは 手紙・メールの書き方等 ④【4コマ】 インターンシップ ⑤【4コマ】 開成就活論 ⑥【4コマ】 開成社会論 ⑦【8コマ】 社会戦略講座・外部講師講座 ⑧【1コマ】 前期定期試験		①【4コマ】 就職ガイダンス、会社説明会でのマナー ②【1コマ】 就活サイトの活用方法 ③【5コマ】 履歴書作成、仕上げ ④【5コマ】 人物試験（面接・集団討論）対策 ⑤【3コマ】 開成就活論 ⑥【3コマ】 開成社会論 ⑦【8コマ】 社会戦略講座・外部講師講座 ※社会戦略講座は不定期であり、 この進捗にならない場合がある			
テキスト	開成学生便覧、開成就活論、開成社会論、ビジネスマナー関連テキスト、SPI対策テキスト等					
成績評価	定期試験による評価、出席率や授業態度、課題、レポートの提出による評価					

科目名	社会コミュニケーション論Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	学年	全学科2～4年※	授業方法	講義・演習
開講期間	通期（4単位 60コマ）	担当	全教員	実務経験のある教員	○
目標とする資格	ビジネス能力検定ジョブパス 2級				
目標とする技術	就職活動を勝ち抜くために、就職試験対策を中心に、企業研究・履歴書作成・面接練習を主に行う。内定を取った学生は、社会に出てから役に立つ知識や技術について、ロールプレイを通して学んでいく。				
授業内容	前期（30コマ）		後期（30コマ）		
	①【2コマ】 ビジネスマナー 電話のかけ方・名刺の渡し方 封筒の書き方・席順 等 ②【4コマ】 開成就活論 ③【4コマ】 開成社会論 ④【11コマ】 企業研究 履歴書作成 面接練習 ⑤【8コマ】 社会戦略講座・外部講師講座 ⑥【1コマ】 前期定期試験		①【7コマ】 仕事に取り組む前に知っておきたいこと 仕事への取り組み方 ②【14コマ】 ビジネス関連文書の書き方 仕事の技法と知識 ③【8コマ】 社会戦略講座・外部講師講座 ※社会戦略講座は不定期であり、 この進捗にならない場合がある		
テキスト	開成学生便覧、開成就活論、開成社会論、ビジネスマナー関連テキスト、SPI対策テキスト等				
成績評価	定期試験による評価、出席率や授業態度、課題、レポートの提出による評価				

※高度システム開発科2年は、社会コミュニケーション論Ⅰ・Ⅱのシラバス内容を参照。

科目名	就職研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	学年	全学科・全学年	授業方法	講義・演習																
開講期間	通期（2単位　30コマ）	担当	全教員	実務経験のある教員	○																
目標とする技術	就職内定に向けての様々な研修を行う。同時に、その後の社会で活躍できるように内定後の研修も実施することで、卒業後も各自が自信を持って様々な挑戦をする気持ちの強さを持つことができる。																				
授業内容	<table><tr><td>①【1コマ】　文字の書き方、メモの取り方</td><td>⑦【3コマ】　適性検査、就職模擬試験</td></tr><tr><td>②【2コマ】　意思伝達練習</td><td>⑧【1コマ】　就職活動の進め方</td></tr><tr><td>③【4コマ】　履歴書、エントリーシート指導</td><td>⑨【1コマ】　ビジネスマナー、社会常識</td></tr><tr><td>④【3コマ】　オンライン面接練習、グループワーク（外部講師講座）</td><td>⑩【1コマ】　内定後の学校での過ごし方</td></tr><tr><td>⑤【1コマ】　インターンシップに向けて</td><td>⑪【3コマ】　学内会社説明会</td></tr><tr><td>⑥【2コマ】　校外活動、企業見学</td><td>⑫【2コマ】　先輩・卒業生の就活体験談（予定）</td></tr><tr><td></td><td>⑬【3コマ】　社会人生活に向けての準備</td></tr><tr><td></td><td>⑭【3コマ】　振り返り、決意表明</td></tr></table>					①【1コマ】　文字の書き方、メモの取り方	⑦【3コマ】　適性検査、就職模擬試験	②【2コマ】　意思伝達練習	⑧【1コマ】　就職活動の進め方	③【4コマ】　履歴書、エントリーシート指導	⑨【1コマ】　ビジネスマナー、社会常識	④【3コマ】　オンライン面接練習、グループワーク（外部講師講座）	⑩【1コマ】　内定後の学校での過ごし方	⑤【1コマ】　インターンシップに向けて	⑪【3コマ】　学内会社説明会	⑥【2コマ】　校外活動、企業見学	⑫【2コマ】　先輩・卒業生の就活体験談（予定）		⑬【3コマ】　社会人生活に向けての準備		⑭【3コマ】　振り返り、決意表明
①【1コマ】　文字の書き方、メモの取り方	⑦【3コマ】　適性検査、就職模擬試験																				
②【2コマ】　意思伝達練習	⑧【1コマ】　就職活動の進め方																				
③【4コマ】　履歴書、エントリーシート指導	⑨【1コマ】　ビジネスマナー、社会常識																				
④【3コマ】　オンライン面接練習、グループワーク（外部講師講座）	⑩【1コマ】　内定後の学校での過ごし方																				
⑤【1コマ】　インターンシップに向けて	⑪【3コマ】　学内会社説明会																				
⑥【2コマ】　校外活動、企業見学	⑫【2コマ】　先輩・卒業生の就活体験談（予定）																				
	⑬【3コマ】　社会人生活に向けての準備																				
	⑭【3コマ】　振り返り、決意表明																				
テキスト	開成学生便覧、開成就活論、開成社会論																				
成績評価	出席率や授業態度、課題の提出による評価。就職模擬試験の結果による評価。																				

科目名	企画実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	学年	全学科・全学年	授業方法	演習
開講期間	後期（1単位 15コマ）	担当	全教員	実務経験のある教員	○
目標とする技術	年間の最大文化行事として、学生時代の思い出に残る行事となるように、計画から実行までの流れを自分達で模索しながら実行し、企画実行力、協調性、責任感を養うことで、仕事においても様々な状況の中における自身の行動に自信を持って取り組むことができる。				
授業内容	①【15コマ】学園祭に関する企画、実行 実行委員会、全体イベント、クラスイベント、模擬店 計画、段取り、予算、実行、決算、始末、反省、総括				
成績評価	成果物（企画力、制作物のクオリティ、来場者へのアピール度）による評価 出席率や授業態度、取組姿勢による評価				

科目名	MS Office実習Ⅰ	学年	全学科1年	授業方法	講義・演習
開講期間	通期（2単位 30コマ）	担当	大崎 友也	実務経験のある教員	○
目標とする資格	サーティファイWord文書処理技能認定試験 <1・2・3級> サーティファイExcel表計算処理技能認定試験 <1・2・3級> サーティファイPowerPointプレゼンテーション技能認定試験 <初・上級> サーティファイオフィストリプルクラウン サーティファイオフィスマスター				
目標とする技術	Excel、Word、PowerPointの操作技術から多くの演習を実施し、修得することで、Office検定1級まで取得することを目指す。同時に、プレゼン資料の作成・実施など、社会で多く使用する実務活用的な演習も加え、将来の仕事においても、様々な資料作成業務に関し、自信を持って取り組める人材として活躍できる。				
授業内容	前期 ①【12コマ】 Excel ・Excelの基本 ・データの変数 ・表の編集 ・ブックの印刷 ・グラフと図形の作成 ・ブックの利用と管理 ・関数 ・データベース機能 ②【1コマ】 前期定期試験 後期 ①【10コマ】 Word ・Wordの基本 ・入力と編集の基本操作 ・文書の変数 ・文書の印刷 ・文書の作成 ・表を使った文書の作成 ・図形や画像の使用 後期（Ⅰ・Ⅱ共通） ②【6コマ】 PowerPoint ・プレゼンテーションの基本 ・PowerPointの基本知識 ・プレゼンテーションの作成 ・プレゼンテーションの構成とデザイン ・文字の編集 ・オブジェクトの作成 ・表示効果とハイパーリンク ・スライドショーの実行 ・テーマのカスタマイズと既存データの活用 ・SmartArtの活用 ・グラフの追加と図の加工 ③【1コマ】 後期定期試験				
テキスト	Excel表計算処理技能認定試験1・2級 2019対応版 Excel表計算処理技能認定試験3級 2019対応版 Word文書処理技能認定試験1・2級 2019対応版 Word文書処理技能認定試験3級 2019対応版 PowerPointプレゼンテーション技能認定試験2019対応版 Excelクイックマスター2019、Wordクイックマスター2019、PowerPointクイックマスター2019				
成績評価	定期試験による評価 検定試験の合否による評価 出席率や授業態度、課題の提出・プレゼンテーション発表による評価				

科目名	MS Office実習Ⅱ	学年	全学科2年	授業方法	講義・演習
開講期間	通期（2単位 30コマ）	担当	久保 一夫	実務経験のある教員	○
目標とする資格	サーティファイWord文書処理技能認定試験 <1・2・3級> サーティファイExcel表計算処理技能認定試験 <1・2・3級> サーティファイPowerPointプレゼンテーション技能認定試験 <初・上級> サーティファイオフィストリプルクラウン サーティファイオフィスマスター				
目標とする技術	Excel、Word、PowerPointの操作技術から多くの演習を実施し、修得することで、Office検定1級まで取得することを目指す。同時に、プレゼン資料の作成・実施など、社会で多く使用する実務活用的な演習も加え、将来の仕事においても、様々な資料作成業務に関し、自信を持って取り組める人材として活躍できる。				
授業内容	前期 ①【12コマ】 Excel ・入力補助機能 ・関数 ・グラフ機能 ・複数ワークシートの集計 ・データベース ・データの分析 ・処理の自動化 ②【1コマ】 前期定 後期 ①【10コマ】 Word ・書式の設定 ・文書の校正 ・表の作成 ・見栄えの良い文書作成 ・縦書きの文書作成 ・その他の便利な機能 後期（アプリケーション活用編） ②【6コマ】 PowerPoint ・プレゼンテーションのカスタマイズ ・SmartArtの活用 ・オブジェクトや表、グラフの3活用 ・プレゼンテーションの動作の設定 ③【1コマ】 後期定期試験				
テキスト	Excel表計算処理技能認定試験1・2級問題集【2019対応】 Word文書処理技能認定試験1・2級問題集【2019対応】 PowerPointプレゼンテーション技能認定試験問題集【2019対応】 Excelクイックマスター2019、Wordクイックマスター2019、PowerPointクイックマスター2019				
成績評価	定期試験による評価 検定試験の可否による評価 出席率や授業態度、課題の提出・プレゼンテーション発表による評価				

4. 高度システム開発科・システム開発科 1年 シラバス

科目名	コンピュータ概論Ⅰ	学年	1年	授業方法	講義
開講期間	前期（5単位 75コマ）	担当	久保 一夫	実務経験のある教員	○
目標とする資格	基本情報技術者試験				
目標とする技術	コンピュータに関する専門用語や動作原理・データベース・ネットワーク・システム設計等幅広い分野の基本知識を習得する。ITスキル標準レベル2の基本情報技術者試験においてのA科目に対応できる力を身につける。システムの設計・開発・運用に関し、担当業務に応じて活躍出来る知識・技術を習得する。				
授業内容	試験対策テキストⅠ ベーステクノロジー編 ①【5コマ】 基礎理論 ②【3コマ】 アルゴリズムとプログラミング ③【4コマ】 コンピュータ構成要素 ④【2コマ】 システム構成要素 ⑤【4コマ】 ソフトウェア ⑥【1コマ】 ハードウェア 試験対策テキストⅡ システムの利用と開発編 ①【2コマ】 ヒューマンインターフェースと情報メディア ②【4コマ】 データベース ③【5コマ】 ネットワーク ④【5コマ】 セキュリティ ⑤【4コマ】 システム開発技術 ⑥【1コマ】 ソフトウェア開発管理技術 試験対策テキストⅢ マネジメントと戦略編 ①【5コマ】 プロジェクトマネジメント ②【3コマ】 サービスマネジメント ③【3コマ】 システム戦略 ④【3コマ】 経営戦略 ⑤【3コマ】 企業活動 ⑥【3コマ】 法務 試験・実務 ①【11コマ】 IPA修了試験対策 ②【2コマ】 プログラミング実践（SQLの基本構文） ③【1コマ】 応用数学 定期試験 ①【1コマ】 前期定期試験				
テキスト	TAC FE試験対策テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ、SQLポケットリファレンス インフォテックサーブ 基本情報技術者 科目A問題集				
成績評価	定期試験による評価、出席率や授業態度				

科目名	Java基礎	学年	1年	授業方法	講義・演習
開講期間	前期（3単位 45コマ）	担当	大崎 友也	実務経験のある教員	○
目標とする資格	サーティファイ J a v a プログラミング能力認定試験 3級				
目標とする技術	Java言語の基礎を学ぶ。まずは基礎的な知識とともにオブジェクト指向の考え方を習得し、その後実習を通じて、自分でアルゴリズムを考慮したプログラムが作成できるよう取り組む。				
授業内容	①【2コマ】 導入・環境構築・出力 ②【2コマ】 変数とデータ型（計算・型変換） ③【2コマ】 条件分岐（if文・switch文） ④【2コマ】 繰り返し処理（for文、while文） ⑤【3コマ】 第1回演習 ⑥【2コマ】 1次元配列 ⑦【2コマ】 2次元配列 ⑧【4コマ】 メソッド（関数、引数、戻り値、ライブラリ） ⑨【3コマ】 第2回演習 ⑩【2コマ】 クラスとインスタンス ⑪【2コマ】 コンストラクタとカプセル化 ⑫【2コマ】 継承とポリモーフィズム ⑬【12コマ】 第3回演習				
テキスト	ウィネット J a v a [完全]入門				
成績評価	定期試験による評価、出席率や授業態度による評価				

科目名	データベース基礎	学年	1年	授業方法	講義・演習
開講期間	前期（2単位 30コマ）	担当	大崎 友也	実務経験のある教員	○
目標とする資格	基本情報技術者試験				
目標とする技術	実践で使えるデータベースの技術や知識を身につけると同時に、実際にデータベースを使用しての開発を行うことで、理論と実践をバランスよく学び、現場で通用する応用力の習得を目指す。				
授業内容	①【1コマ】 導入、環境構築 ②【23コマ】 SQL(SELECT、FROM、WHERE、ORDER BY)、集計関数(SUM、COUNT)、グループ化(GROUP BY JOIN (INNER JOIN、LEFT JOIN)、サブクエリ、文字列操作関数、副問い合わせ ③【2コマ】 トランザクション(ASID、コミット、ロック) ④【4コマ】 主キー、外部キー、正規化				
テキスト	スッキリわかるSQL入門				
成績評価	定期試験による評価、出席率や授業態度				

科目名	修了試験対策	学年	1年	授業方法	講義
開講期間	前期（2単位 30コマ）	担当	中尾 友紀	実務経験のある教員	
目標とする資格	IPA修了試験				
目標とする技術	IPA修了試験合格程度の知識を身につけるとともに、試験に必要な問題の解き方を身につける。				
授業内容	IPA修了試験対策 ①【8コマ】 問題演習 ②【22コマ】 過去問題演習				
テキスト	インフォテックサーブ 基本情報技術者 科目A問題集				
成績評価	定期試験による評価、出席率や授業態度				

科目名	アルゴリズム	学年	1 年	授業方法	講義
開講期間	後期（3単位 45コマ）	担当	大崎 友也	実務経験のある教員	○
目標とする資格	基本情報技術者試験				
目標とする技術	主に、基本情報技術者試験の科目B試験対策として、疑似言語によるアルゴリズムの構築の仕方を学び、問題演習を行うことで、科目B試験に合格する実力を得る。				
授業内容	①【10コマ】 アルゴリズムの基礎 ②【7コマ】 疑似言語の基本 ③【10コマ】 基本アルゴリズム ④【10コマ】 データ構造 ⑤【8コマ】 応用アルゴリズム ⑥【1コマ】 定期試験				
テキスト	インフォテックサーブ 疑似言語で学ぶアルゴリズム インフォテックサーブ 基本情報科目B対策 STEP BY STEP問題集				
成績評価	定期試験による評価、出席率や授業態度				

科目名	情報処理研究 I	学年	1 年	授業方法	講義
開講期間	後期（4単位 60コマ）	担当	中尾 友紀	実務経験のある教員	
目標とする資格	基本情報技術者				
目標とする技術	基本情報技術者試験科目B合格程度の知識を習得するとともに、試験に必要な考え方や問題の解き方を身につける。				
授業内容	基本情報技術者午後試験対策 ①【24コマ】 問題集による過去問題演習 ②【32コマ】 問題集による過去問題解説 ③【4コマ】 模擬試験 ※理解度により授業編成を変更する場合があります。				
テキスト	インフォテックサーブ 基本情報技術者 科目B問題集 インフォテックサーブ 科目B対策 STEP BY STEP問題集				
成績評価	定期試験による評価、出席率や授業態度				

科目名	P C 基礎知識	学年	1 年	授業方法	講義
開講期間	後期（2単位 30コマ）	担当	廣谷 真一	実務経験のある教員	○
目標とする資格	特になし				
目標とする技術	「コンピュータ概論」で学んだ知識をベースとして、PCやスマートフォン、周辺機器の内部構造や動作原理をより具体的に理解する。単なる用語の暗記だけに留まらず、ハードウェアとソフトウェアが相互に連携する仕組みを学ぶことで、次段階のネットワーク構築やシステム開発に不可欠な技術的素養を身につける。				
授業内容	①【1コマ】 第1章 コンピュータの基礎知識 ②【12コマ】 第2章 PCの構造 PCの構成/マザーボード/電源ユニット/BIOS/バス/チップセット/CPU/メモリ/ 拡張バス/インタフェース/外部記憶装置/入出力装置 等 ③【8コマ】 スマートフォン/タブレットの仕組み 基本構造、使用デバイス技術 ④【3コマ】 第3章 ノートPC ノートPCの種類と構造/電源管理/周辺機器とメンテナンス ⑤【6コマ】 PCと各周辺機器の仕組み/運用について プリンタ、モニタなど				
テキスト	T A C 実務に役立つコンピュータの基礎 vol.1				
成績評価	定期試験による評価。出席率や授業態度、課題の提出状況による評価				

科目名	プログラム基礎	学年	1 年	授業方法	演習
開講期間	後期（4単位 60コマ）	担当	中尾 友紀	実務経験のある教員	
目標とする資格	サーティファイ C言語プログラミング能力認定試験 2・3級				
目標とする技術	プログラミングの実習を行う。このプログラミング言語は、企業が使う様々な言語の文法の基礎となっている。実習を通じて、テキストのプログラムをただ写すだけでなく、自分でアルゴリズムを考慮したプログラムが作成できるよう取り組む。				
授業内容	①【1コマ】 導入 ②【5コマ】 企画書・仕様書の作成 ③【50コマ】 プログラミング（実習） ④【4コマ】 成果物発表				
テキスト	実教出版 入門C言語				
成績評価	課題の提出状況・内容による評価、出席率や授業態度				

5. 高度システム開発科ホワイト・ハッカー学専攻・システム開発科 2年 シラバス

科目名	コンピュータ概論Ⅱ	学年	2年	授業方法	講義
開講期間	前期（5単位 75コマ）	担当	中尾 友紀	実務経験のある教員	
目標とする資格	応用情報技術者試験				
目標とする技術	応用情報技術者試験が合格できるレベルの知識を身につける。基本情報処理技術者とジャンルは同じだが、より深い内容を学び仕組みを理解し、技術文章を読む・導入などの理由を表現できる力を身につける。なお、本科目は情報処理安全確保支援士試験午前Ⅱ免除の必須科目である。				
授業内容	応用情報技術者午前問題集 ①【75コマ】 各分野別 午前過去問答案練習				
テキスト	TAC AP試験対策テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ、インフォテックサーブ 応用情報技術者午前問題集				
成績評価	定期試験による評価、出席率や授業態度、課題の提出による評価				

科目名	J a v a 応用	学年	2年	授業方法	演習
開講期間	前期（4単位 60コマ）	担当	廣谷 真一	実務経験のある教員	○
目標とする資格	サーティファイ J a v a プログラミング能力認定試験 2級				
目標とする技術	Java言語の基本文法およびオブジェクト指向の概念を深く理解し、保守性・再利用性の高いプログラムを構築できる技術を習得する。既に学習したアルゴリズムを具体的なコードとして実装する能力を養うとともに、標準ライブラリの活用方法を学び、実務的なアプリケーション開発の基礎力を身につける。				
授業内容	Ⅰ. Javaプログラミング（30コマ） ①【2コマ】Java言語の立ち位置、仕組み ②【4コマ】作成・コンパイル・実行 ③【6コマ】変数とデータ型・文字列 ④【4コマ】分岐・繰り返し・メソッド ⑤【2コマ】クラスとオブジェクト ⑥【4コマ】継承・総称 ⑦【4コマ】配列・例外 ⑧【2コマ】インタフェース・パッケージ ⑨【2コマ】ファイル入出力・スレッド Ⅱ. 課題プログラミング（30コマ） ①【1コマ】講義 ②【3コマ】実習 ③【1コマ】解説 ※①～③を繰り返し行っていく。課題によりコマ数は変化する ※Ⅰ.で概念を理解し、応用としてⅡ.の課題に沿ったアプリを作成する				
テキスト	ウィネット J a v a [完全]入門				
成績評価	定期試験による評価。出席率や授業態度、課題の提出があれば考慮する。				

科目名	資格試験対策	学年	2年	授業方法	講義
開講期間	前期（3単位 45コマ）	担当	久保 一夫	実務経験のある教員	○
目標とする資格	基本・応用情報技術者試験及び、サーティファイ情報検定試験				
目標とする技術	サーティファイ情報処理技術者能力認定試験2級1部合格者に対して、サーティファイ修了試験・IPA修了試験の対策を行う。また応用情報技術者試験対策者は、応用情報科目A試験の演習を行う。 更に、サーティファイ情報試験受験者に対しても、試験に応じた対策を行う。				
授業内容	①【39コマ】 IPA修了試験の過去問題を中心に、演習→解説を繰り返す。 ②【6コマ】 サーティファイ情報検定試験の演習→解説を繰り返す。				
テキスト	TAC FE試験対策テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ、インフォテックサーブ 基本情報技術者 科目A問題集 サーティファイ情報検定試験問題集				
成績評価	検定試験の可否による評価、出席率や授業態度、授業内の試験結果による評価				

科目名	HTML5	学年	2 年	授業方法	講義・演習
開講期間	前期（2 単位 30 コマ）	担当	久保 一夫	実務経験のある教員	○
目標とする資格	サーティファイ Webクリエイター能力認定試験 エキスパート				
目標とする技術	Webサイト制作に必要な知識・技術を学ぶ。レイアウト手法や色彩に関する考え方等、ユーザビリティやアクセシビリティを考慮した表現をHTML5、CSS、JavaScriptを組み合わせる力を身に付ける。				
授業内容	(1)Webクリエイター 能力認定試験 (HTML5対応) エキスパート 公式テキスト (2)Webクリエイター能力認定試験 エキスパート問題集 【HTML5対応】 ①【1コマ】 Webサイト、制作の基礎知識 ②【4コマ】 HTMLの基礎と応用 ③【4コマ】 CSSの基礎と応用 ④【3コマ】 高度なリストのデザイン ⑤【2コマ】 テキスト主体のページ ⑥【2コマ】 テーブルとスタイル ⑦【1コマ】 ギャラリーレイアウト ⑧【1コマ】 フォーム ⑨【2コマ】 Webデザインの基礎知識 ※(1)のテキストで概念を学習し、(2)のテキストで検定対策を行う				
テキスト	Webクリエイター 能力認定試験 (HTML5対応) エキスパート 公式テキスト Webクリエイター能力認定試験エキスパート問題集 【HTML5対応】				
成績評価	定期試験による評価、出席率や授業態度、課題の提出等を考慮				

科目名	A I ・機械学習	学年	2 年	授業方法	演習
開講期間	後期（3 単位 45 コマ）	担当	中尾 友紀	実務経験のある教員	
目標とする資格	なし				
目標とする技術	DBの活用例として、機械学習やディープラーニングの基本的な理論とアルゴリズムを理解し、サンプルデータを用いた分析を身に着ける。加えて、機械学習のための開発環境を構築し、自らデータ分析を行い、その結果を評価する。また、生成A I の利活用に関する学習、具体的にヒューマンインザループなどの実現に資する能力の育成を目指す。				
授業内容	①【5コマ】 第1部 ②【3コマ】 第2部 ③【5コマ】 第3部 ④【5コマ】 第4部 ⑤【5コマ】 生成A I ⑥【22コマ】 演習・レポート作成、開発など ※理解度・テクノロジーの変革により授業予定を変更する場合があります。				
テキスト	インフォテックサーブ AI・機械学習入門				
成績評価	定期試験による評価、出席率や授業態度、課題の提出等を考慮				

科目名	情報処理研究Ⅱ	学年	2 年	授業方法	講義
開講期間	後期（4 単位 60 コマ）	担当	久保 一夫	実務経験のある教員	○
目標とする資格	応用情報処理技術者試験				
目標とする技術	応用情報処理技術者の取得に向けての対策を行う。特に科目Bの重点分野に関する演習を徹底して行い、幅広い出題範囲についてさらに理解を深める。なお、基本情報処理技術者の未取得者については基本情報の対策も行う。				
授業内容	応用情報処理技術者試験対策 ①【4コマ】 科目A問題による知識の振り返り ②【45コマ】 過去問題による演習／授業内容の復習 【15コマ】 科目A対策 【30コマ】 科目B対策 ③【10コマ】 模擬試験による理解度確認／授業内容の復習 ④【1コマ】 定期試験 ※基本情報受験者は情報処理研究Ⅰに準ずる。 ※理解度により授業編成を変更する場合があります。				
テキスト	TAC AP試験対策テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ、インフォテックサーブ 応用情報技術者 科目B問題集				
成績評価	定期試験による評価、模擬試験の結果、検定試験の可否や得点、出席率や授業態度、課題の提出等を考慮				

科目名	プログラム実務	学年	2 年	授業方法	演習
開講期間	後期（4 単位 60 コマ）	担当	久保 一夫	実務経験のある教員	○
目標とする資格	サーティファイ C言語プログラミング能力認定試験 2・3級 サーティファイ Javaプログラミング能力認定試験 2・3級				
目標とする技術	2年間のプログラミング学習の総仕上げとして、いままで学習したC言語やJ a v a言語をメインに開発を行う。開発内容は一人ひとりが企画し、仕様書などのドキュメント類を作成し、プログラムを作品として仕上げる。				
授業内容	①【1コマ】 導入 ②【5コマ】 企画書・仕様書の作成 ③【50コマ】 プログラミング（実習） ④【4コマ】 成果物発表				
テキスト	特になし（各自で作りたいものに関連する書籍の持ち込みを推奨する）				
成績評価	課題の提出状況・内容による評価、出席率や授業態度				

6. 高度システム開発科 ホワイト・ハッカー学専攻3年・4年 シラバス

科目名	仮想化技術	学年	3・4年	授業方法	講義・演習
開講期間	前期（2単位 30コマ）	担当	大崎 友也	実務経験のある教員	○
目標とする資格	なし				
目標とする技術	クラウドサービスを支える仮想化技術を学ぶとともに、クラウドサービスの特性や技術を学ぶ。また、実際のクラウドサービス事業を学び、現実でどのような活用がなされているかを学習する。				
授業内容	①【1コマ】 オリエンテーション ②【2コマ】 クラウドとは ③【2コマ】 クラウドサービスとその利用 ④【3コマ】 クラウドを実現する技術 ⑤【3コマ】 クラウド導入に向けて ⑥【4コマ】 業種別・目的別クラウド活用例 ⑦【11コマ】 事業者調べ レポート作成 ⑧【3コマ】 事業者調べ 発表				
テキスト	イラスト図解式この一冊で全部わかるクラウドの基本 第2版				
成績評価	確認試験による評価、レポート提出による評価、出席率や授業態度				

科目名	Android DB	学年	3・4年	授業方法	講義・演習
開講期間	前期（3単位 45コマ）	担当	廣谷 真一	実務経験のある教員	○
目標とする資格					
目標とする技術	Androidアプリケーション開発において必要なデータベースソフトの使い方やSQL、APIについて学ぶ。データベースの設計手法や正規化、ER図を実習により身に付ける。				
授業内容	①【1コマ】 Androidデータベース基礎 ②【2コマ】 SQLite仕様確認 ③【2コマ】 アプリケーションI/F仕様確認 ④【2コマ】 概念設計・論理設計・物理設計 ⑤【2コマ】 データベース環境構築（実習） ⑥【8コマ】 基本SQL（実習） ⑦【10コマ】 DB設計（実習） ⑧【3コマ】 まとめ、レポート作成				
テキスト	基礎&応用力をしっかりと育成！Androidアプリ開発の教科書				
成績評価	レポート提出による評価・出席率や授業態度による評価				

科目名	Android開発環境構築	学年	3・4年	授業方法	講義・演習
開講期間	前期（1単位 15コマ）	担当	廣谷 真一	実務経験のある教員	○
目標とする資格					
目標とする技術	開発環境 Android Studioをインストールし、Androidタブレットにて動くアプリケーションの開発環境を構築できる力を身に付ける。				
授業内容	①【3コマ】 Android Studioのインストール ②【2コマ】 Android SDKのインストール ③【3コマ】 Android Studioの使い方 ④【3コマ】 Android Studioでの基本プログラミング ⑤【2コマ】 エミュレータや実機（タブレット）での動作確認 ⑥【2コマ】 まとめ、レポート作成				
テキスト	基礎&応用力をしっかりと育成！Androidアプリ開発の教科書				
成績評価	レポート提出による評価・出席率や授業態度による評価				

科目名	Android開発	学年	3・4年	授業方法	講義・演習
開講期間	前期（5単位 75コマ）	担当	廣谷 真一	実務経験のある教員	○
目標とする資格					
目標とする技術	Androidアプリケーションの開発手法を学ぶ。コーディング規約を守り、ルールに従った開発手法を身に付ける。作成したアプリケーションをタブレットにインストールして動作確認・テストするまでの一連の動作を体験する。また、学生ならではのアイディアも反映して仕様に盛り込む。				
授業内容	①【5コマ】 アプリケーション試作 ②【7コマ】 開発環境・使用言語の仕様理解 ③【15コマ】 アプリケーション開発（1） ④【15コマ】 アプリケーション開発（2） ⑤【30コマ】 オリジナルアプリケーション開発 ⑥【3コマ】 まとめ、レポート作成				
テキスト	基礎&応用力をしっかりと育成！Androidアプリ開発の教科書				
成績評価	レポート提出による評価・出席率や授業態度による評価				

科目名	Webシステム開発	学年	3・4年	授業方法	講義・演習
開講期間	後期（1単位 15コマ）	担当	廣谷 真一	実務経験のある教員	○
目標とする資格					
目標とする技術	Webサーバで動く動的コンテンツをPHP等で作成する。Webサービスに不可欠なセッションやクッキーの使い方を理解し、MySQLとの連携を行えるようにする。				
授業内容	①【3コマ】 Web開発環境構築 ②【3コマ】 PHPのシンタックス ③【2コマ】 Webページの基本 ④【2コマ】 セッションとクッキー ⑤【2コマ】 ファイルの読み込みと書き出し ⑥【3コマ】 MySQLの操作				
テキスト	基礎&応用力をしっかりと育成！Androidアプリ開発の教科書				
成績評価	出席率や授業態度、課題の提出による評価				

科目名	Webテスト	学年	3・4年	授業方法	講義・演習
開講期間	後期（2単位 30コマ）	担当	廣谷 真一	実務経験のある教員	○
目標とする資格					
目標とする技術	結合テスト・システムテスト・運用テストを理解する。テスト仕様書を作り、開発したシステムにバグがないかテストを行う。見つかったバグは修正を行い、完璧なWebシステム作りを目指す。				
授業内容	①【1コマ】 機能テスト ②【1コマ】 性能テスト ③【1コマ】 負荷テスト ④【1コマ】 ユーザビリティテスト ⑤【1コマ】 セキュリティテスト ⑥【1コマ】 構造ベース（ホワイトボックス）テスト ⑦【1コマ】 仕様ベース（ブラックボックス）テスト ⑧【1コマ】 リグレーションテスト ⑨【5コマ】 テスト仕様書作成（実習） ⑩【6コマ】 Webシステムテスト（実習） ⑪【2コマ】 バグ修正（実習） ⑫【6コマ】 再テスト（実習） ⑬【3コマ】 まとめ、レポート作成				
テキスト	コードが動かないので帰れません！新人プログラマのためのエラーが怖くなる本				
成績評価	成果物による評価・出席率や授業態度、課題の提出による評価				

科目名	Web英語読解	学年	3・4年	授業方法	講義
開講期間	後期（1単位 15コマ）	担当	廣谷 真一	実務経験のある教員	○
目標とする資格					
目標とする技術	情報処理システムを学習する上では、英語のメッセージを正しく読み、また技術書を読んで内容を理解する力が必要である。本科目では技術書を読んで理解する実習を中心に、英語を学習する。				
授業内容	①【5コマ】 技術用語に関係する英単語ヒアリングによる演習 ②【6コマ】 テキストによる英語構文読解の知識とテクニック講義 ③【3コマ】 技術書・Webサイト（英文）読解演習				
テキスト	現場で困らない！ITエンジニアのための英語リーディング				
成績評価	レポート提出による評価・出席率や授業態度による評価・後期確認試験による評価				

科目名	Windows OS概論	学年	3・4年	授業方法	講義
開講期間	後期（1単位 15コマ）	担当	久保 一夫	実務経験のある教員	○
目標とする資格					
目標とする技術	Windowsのアーキテクチャの変遷や、その特徴の理解からはじめ、各種サーバ製品、アプリケーション、開発ツールなどのコンセプトと特徴を理解する。マイクロソフトのシステム体系や、Windowsシステムの全体像を理解し、システム構築に役立てる知識を身に付ける。				
授業内容	①【1コマ】 Windowsをとりまく環境 ②【2コマ】 Windowsの構成要素 ③【2コマ】 Windowsが動く仕組み ④【3コマ】 サーバ技術 ⑤【2コマ】 主な製品 ⑥【2コマ】 クラウド ⑦【1コマ】 Visual Studio ⑧【1コマ】 その他の技術				
テキスト	適宜指示する				
成績評価	確認試験による評価、出席率や授業態度				

科目名	ルータ演習Ⅲ・Ⅳ	学年	3・4年	授業方法	講義・演習
開講期間	後期（1単位 15コマ）	担当	廣谷 真一	実務経験のある教員	○
目標とする資格	ベンダ資格など				
目標とする技術	現在のネットワーク構築や、情報セキュリティ対策に不可欠であるルータの具体的な機能を学び、演習により具体的な設定法を学ぶ。				
授業内容	実際に、ルータ機器を使用する。型式やユーザーズマニュアルは適宜指示する。 ①【3コマ】 ネットワーク機器の概要 ②【3コマ】 ネットワーク機器の設定 ③【3コマ】 社内ネットワークの構築（VLAN） ④【3コマ】 インターネットと接続させるための設定（NAT, NAPT） ⑤【2コマ】 パケットフィルタリングなどのセキュリティ				
テキスト	適宜指示する				
成績評価	確認試験による評価、レポート提出による評価、出席率や授業態度				

科目名	ネットワーク研究Ⅲ・Ⅳ	学年	3・4年	授業方法	講義・演習
開講期間	後期（1単位 15コマ）	担当	廣谷 真一	実務経験のある教員	○
目標とする資格	情報処理安全支援確保士試験、ネットワークスペシャリスト試験				
目標とする技術	ネットワークの学習項目（技術、サービスの動向、関連技術）を項目別に学習し、また演習を行うことで、目標資格の合格を目指す。				
授業内容	①【3コマ】 ネットワーク方式 ②【3コマ】 データ通信と制御 ③【3コマ】 通信プロトコル ④【3コマ】 ネットワーク管理 ⑤【2コマ】 ネットワーク応用				
テキスト	ネットワーク技術の教科書 他				
成績評価	確認試験による評価、出席率や授業態度				

科目名	情報セキュリティ研究Ⅲ・Ⅳ	学年	3・4年	授業方法	講義・演習
開講期間	後期（5単位 75コマ）	担当	廣谷 真一	実務経験のある教員	○
目標とする資格	情報処理安全支援確保士試験、ネットワークスペシャリスト試験				
目標とする技術	ネットワークの学習項目（技術、サービスの動向、関連技術）を項目別に学習し、また演習を行うことで、目標資格の合格を目指す。				
授業内容	①【3コマ】 情報セキュリティ目的と考え方 ②【10コマ】 情報セキュリティ管理 ③【10コマ】 セキュリティ技術評価 ④【15コマ】 情報セキュリティ対策 ⑤【12コマ】 情報セキュリティ対策 ⑥【10コマ】 セキュリティ実装技術 ⑦【15コマ】 模試演習・解説				
テキスト	セキュリティ技術の教科書 他				
成績評価	確認試験による評価、出席率や授業態度				

科目名	Android脆弱性体験	学年	3・4年	授業方法	講義・演習
開講期間	後期（4単位 60コマ）	担当	廣谷 真一	実務経験のある教員	○
目標とする資格	情報処理安全確保支援士試験				
目標とする技術	Android OSの構造や仕様を把握し、脆弱性の内容と対策内容を理解することで、堅牢なAndroidアプリケーションが開発できるようにする。				
授業内容	①【1コマ】 環境構築 ②【56コマ】 脆弱性の解説・課題実習・演習問題を項目別に取り組む ③【3コマ】 実習レポート作成				
テキスト	Androidアプリ開発のためのセキュリティ入門				
成績評価	レポート提出による評価・出席率や授業態度による評価				

科目名	脆弱性対策実習Ⅲ・Ⅳ	学年	3・4年	授業方法	講義・演習
開講期間	後期（4単位 60コマ）	担当	廣谷 真一	実務経験のある教員	○
目標とする資格	情報処理安全確保支援士試験				
目標とする技術	「Android脆弱性体験」で得られた技術と、この授業までに調査した技術レポートを参考にして、グループ分けによる攻撃実習や、すでに修了した授業科目で作成した校内のサーバやアプリケーションに対して、ペネトレーションソフトウェア（侵入ツール）を使用しツール評価を行う。				
授業内容	①【8コマ】 事前学習 ②【16コマ】 環境構築・システム確認 ②【30コマ】 対策実習の実施 ③【6コマ】 実習レポート作成				
テキスト	適宜指示する				
成績評価	レポート提出による評価、出席率や授業態度				

7. 時間割

< 注意点 >

- ・ 日程や、時間割・教室・担当教員が変更になる場合があります。
開成公用掲示板を必ず確認し、メモを取る、朱書きで書き込むなど、間違いのないようにしてください。